

(研修会のご案内)

中小水力発電技術に関する実務研修会

(平成24年度第2回目)

当財団では、中小水力発電開発促進事業の一環として、水力発電実務担当者(技術者)を対象とした研修会を企画実施しております。

この度、本年度第2回目(通算第96回目)の研修会を下記要領にて開催いたしますので、ご案内申し上げます。

関係各位多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

1. 日 時 平成24年10月11日(木) 10:25~16:05
12日(金) 9:25~15:00
2. 場 所 三会堂ビル(石垣記念ホール)
〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目9番13号
電話 03-3582-7451

(案内図参照)

お申し込み、お問合せ先

〒170-0013 東京都豊島区東池袋三丁目13番2号

一般財団法人 新エネルギー財団 水力地熱本部

電話 03-6810-0364

FAX 03-3982-5101

担 当 : 宮田、鈴木、柴田

3. 研修概要

- ・開催日：平成 24 年 10 月 11 日(木)～平成 24 年 10 月 12 日(金)
- ・時間割：次表の通り

日	時間	テーマ	主な内容
11 日	10:25～	開 会 (財)新エネルギー財団	—
	10:35 ～ 12:00	①水力発電設備の樹脂管(一般市販管)の技術規程について (社)日本電気協会 水力専門部会 水力技術規程検討WG 主 査 大 濱 隆 司 (九州電力株式会社 副長) 同会 同部会 同WG 委 員 柴 尾 優 一 (日本ハウエル株式会社 部長)	水力発電設備のコストダウン、開発促進を目的とした樹脂管(一般市販管)の水圧管への適用における技術規程、適用事例を紹介する。 1. 概要(目的と経緯) 2. 樹脂管の特徴 3. 水力発電設備の樹脂管技術規程について 4. 実際の適用例
	13:00 ～ 14:25	②水車部品の土砂摩耗予測管理手法の開発について 関西電力株式会社 電力システム技術センター 水力グループ 副 長 奥 出 邦 夫	土砂摩耗により決定されることの多い水車部品の更新周期や点検周期を最適化するために、電力中央研究所と共同開発した水車部品の土砂摩耗の程度を予測管理する手法を紹介する。 1. 水車を通過する土砂量と水車部品の摩耗量 2. 水車部品が摩耗する濁度 3. 水車摩耗モデル式 4. 水車摩耗予測プログラム
	14:40 ～ 16:05	③電力土木構造物における健全性調査・診断および補修技術について 社団法人 日本建設業連合会 電力工事委員会 技術部WG委員 株式会社 奥村組 東日本支社 環境技術部 環境課長 森 本 克 秀	経年劣化していく電力土木構造物の的確な維持管理を目的とした健全性調査・診断技術、補修・補強技術を紹介する。 1. 電力土木構造物の特徴 2. 調査・診断技術 3. 補修・補強技術 4. 今後の展望
12 日	9:25 ～ 10:50	④小型水車発電機の新技术について 一般財団法人 新エネルギー財団 水力地熱本部 水力国際・技術部 主 幹 笠 原 徹	平成 23 年度に実施した小型水車発電機に関する新技术調査結果と平成 24 年度実施中の新技术調査概要を紹介する。 1. 平成 23 年度小型水車発電機の調査結果 2. 平成 24 年度小型水車発電機の調査概要
	11:05 ～ 12:30	⑤水力発電所土木設備の防災・維持管理のための降雨量・出水予測技術について 一般財団法人 電力中央研究所 地球工学研究所 流体科学領域 上席研究員 豊 田 康 嗣	降雨に対する水力発電所土木構造物の的確な防災と維持管理を目的とした降雨量・出水予測技術を紹介する。 1. 降雨予測システムの開発 2. 降雨予測システムの適用事例(台風、前線、雷雨) 3. 降雨予測システムと連携した出水予測
	13:30 ～ 14:55	⑥既設水力エネルギーの有効活用技術について 富士電機株式会社 発電プラント事業部 水力プラント部 主 席 塚 本 直 史	既設水力エネルギーの有効活用を目的とした既設水力発電所の高効率化技術と小水力エネルギーの回収技術を紹介する。 1. 高効率ランナの適用 2. マイクロチューブラ水車の適用 3. 耐摩耗コーティング技術 4. ハイブリッドサーボモータ
	～15:00	閉 会 (財)新エネルギー財団	—

・テーマ、内容等が変更される場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

4. 定 員 150名程度（申込先着順）

5. 参加費（ご1名につき） 賛助会員 28,000円、 一 般 32,000円

6. 申込方法等

(1)本ページをコピーし、下記申込書に必要事項をご記入のうえ、最初のページの申込先（(財)新エネルギー財団 水力地熱本部）に、ファックスをお送り下さい。

なお、ファックス送信後は、必ず申込先担当者に電話での確認連絡をお願いします。

(2)お申込者数が定員に達しますと、受付を締め切らせて頂きます。あらかじめご了承ください。なお、その際は、当財団からご連絡いたします。

(3)お申込受付後、請求書を郵送させていただきます。参加費は、請求書記載の金融機関へお振り込み下さい。

(4)申込後にキャンセルまたは受講者変更となる場合は至急ご連絡下さい。

キャンセルのご連絡を頂いた方には、テキスト代，テキスト送料，振込み手数料等を頂く場合がございます。

研修会当日にご連絡なく欠席された方には、受講料全額を頂く場合がございます。

(5)研修会当日（2日間）の昼食は、当財団の研修会運営都合上、こちらで用意します。

7. 申込期限 平成24年9月27日（木）

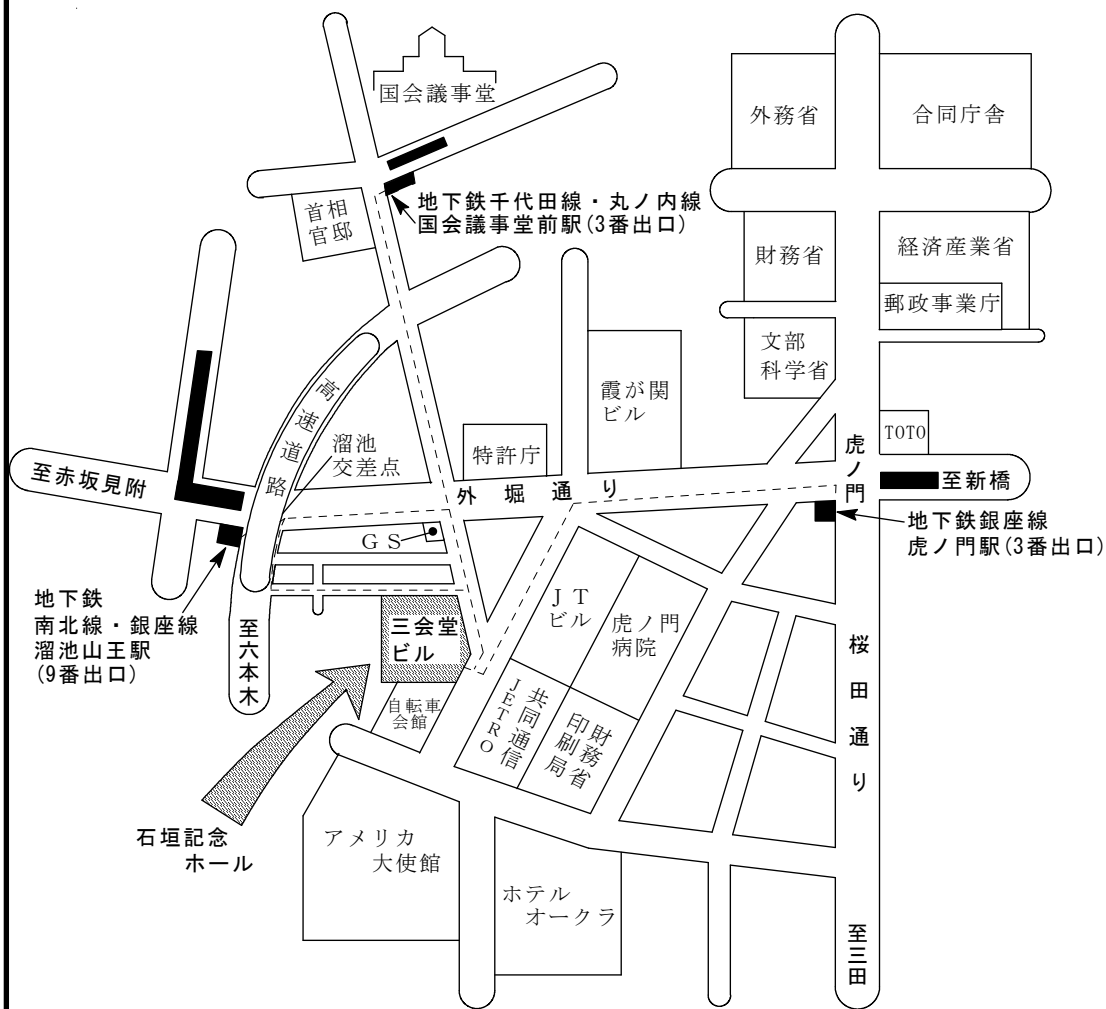
中小水力発電技術に関する実務研修会（第2回）申込書							
会員区分 ----- <input type="checkbox"/> 賛助会員 <input type="checkbox"/> 一 般		ご住所 〒 _____					
団体名・企業名・ご所属部署名							
TEL ()							
ご参加者氏名		ご所属部課名		職 種	経 験 年 数	ご参加実績	合 計
1					年	回	_____ 名
2					年	回	
3					年	回	_____ 円
請求書宛名						受付番号 (財団利用欄)	
通信欄(連絡事項等)							

- ・「職種」欄には、土木・電気・機械等の職種をご記入下さい。
- ・「経験年数」欄には、水力発電関係業務に従事された年数をご記入下さい。
- ・「ご参加実績」欄には、これまで当実務研修会に参加いただいた回数をご記入下さい。
- ・「請求書宛名」欄は、請求書の宛名をご記入下さい。
- ・「通信欄」は、当財団への連絡事項や、当財団からの連絡窓口担当様の指定等にご利用下さい。
ご指定のない場合は、ご参加者氏名欄1.にご記名の方をご連絡先とさせていただきます。

三会堂ビル(石垣記念ホール) 案内図

東京都港区赤坂 1 丁目 9 番13号三会堂ビル

03-3582-7451(代)



● 交通ご案内

- J R 新橋駅下車タクシー7分
- 地下鉄 南北線・銀座線溜池山王駅下車(9番出口) 徒歩4分
- 地下鉄 銀座線虎ノ門駅下車(3番出口) 徒歩5分
- 地下鉄 千代田線・丸ノ内線国会議事堂前駅下車(3番出口) 徒歩7分

羽田空港より

羽田空港 $\xrightarrow[21分]{東京モノレール}$ 浜松町 $\xrightarrow[2分]{山手線内回り}$ 新橋 $\xrightarrow[2分]{営団銀座線}$ 虎ノ門